

(様式1) 新規評価総括表

事業種類		主要な道路の整備				県単道路改築						建設部 道路建設課			
番号	市町村名	(ふりがな) 箇所名	事業概要	全体事業費 (千円)	H26年度 事業費 (千円)	完了 予定 年度	箇所評価				部意見	行政改革課意見	採択	備考	
							必要性	重要性	効率性	緊急性					計画熟度
1	長野市	(国) 403号 綿内石屋	道路改築工 L=200m W=6.5(12.5)m	480,000	4,925	30	24	6	15	20	20	85	緊急性が高く、必要性も認められる。	○	
2	小諸市	(主)諏訪百穂湖小諸線 大久保	道路改良工 L=400m W=5.5(7.0)m	90,000	7,750	28	23	8	18	20	14	83	生活道路の安全確保および観光地へのアクセス向上のため、また全体的に評価レベルが高いため、平成26年度から事業化したい。	○	
3	信濃町	(主)信濃信州新線 仁之倉	道路改築工 L=220.0m W=6.0m(8.5)m	230,000	8,000	31	24	6	12	20	18	80	地元要望が強く、ポトルネットワークの解消により、安全かつ円滑な通行を確保する必要があるため、平成26年度から事業化したい。	○	
4	南牧村	(主)梓山海ノ口線 広瀬	道路改良工 L=150m W=4.0(5.0)m	34,000	6,600	28	17	8	18	20	16	79	地元要望が強く、生活道路として円滑な交通の確保が必要のため、平成26年度から事業化したい。	○	
5	中野市	(一)三水中野線 安源寺	道路拡幅工 L=460m W=6.0(9.75)m	450,000	50,000	33	24	6	12	16	20	78	必要性、緊急性ともに高く、通学路および生活道路としての安全かつ円滑な通行を確保する必要があるため、平成26年度から事業化したい。	○	
6	飯田市	(一)新田中村線 立石	道路築造工 L=300m W=4.0(5.0)m	30,000	1,500	28	17	8	20	16	16	77	地元要望が強く、生活道路の安全確保を図る必要があるため、平成26年度から事業化した。	○	
7	長野市	(国) 406号 戸隠相山	道路築造工 L=80m W=6.0(7.5)m	41,000	7,920	27	21	6	18	16	16	77	地元要望が強く、幹線道路の安全確保を図る必要があるため、平成26年度から事業化したい。	○	

(様式1) 新規評価総括表

事業種類	主要な道路の整備		県単道路改築					建設部 道路建設課							
	市町村名	箇所名 (ふりがな)	事業概要	全体事業費 (千円)	H26年度 事業費 (千円)	完了 予定 年度	箇所評価			行政改革課意見	採択	備考			
必要性	重要性	効率性	緊急性	計画熟度	評点										
8	立科町	(一) 牛鹿望月線 中原	道路改良工 L=260m W=6.0(9.75)m	170,000	6,950	28	20	3	17	20	16	76	地元要望が強く、通学路および生活道路としての安全確保を図る必要があるため、平成26年度から事業化したい。	○	
9	大田市	(一) 白馬岳大町線 源及～西原	道路築造工 L=250m W=6.0(10.0)m 待避所設置12箇所	70,000	15,000	28	18	6	18	16	18	76	焼却施設へのアクセス機能の向上および生活道路としての安全確保を図る必要があるため、平成26年度から事業化したい。	○	
10	須坂市	(一) 村山幡内(停)線 榎高	交差点改良工 1箇所	300,000	1,000	27	26	3	18	10	18	75	須坂市と長野市とを結ぶ幹線道路の交差点であるため、危険箇所箇所の解消により、安全かつ円滑な通行を確保するため、平成26年度から事業化したい。	○	
11	茅野市	(一) 神ノ原青柳(停)線 玉川小入口	道路築造工 L=80m W=6.0(9.75)m	70,000	20,000	28	21	6	20	16	10	73	通学路緊急合同点検の要対策箇所であり、早期に通学路の安全確保を図る必要があるため、平成26年度から事業化したい。	○	
12	松本市	(主) 松本和田線 栃ノ木橋上	道路改築工 L=430m W=5.5(7.0)m	30,000	15,000	28	20	5	20	12	16	73	地元要望が強く、観光地へのアクセス機能の向上により、地域産業の活性化に寄与する事業であるため、平成26年度から事業化したい。	○	ボトルネック箇所があることから必要性は認められる。
13	大田市	(一) 小高信濃水鏡(停)線 向	道路築造工 L=650m W=5.5(7.0)m	110,000	8,000	30	15	5	17	20	16	73	地元要望が強く、生活道路の安全かつ円滑な通行を確保するため、平成26年度から事業化したい。	○	緊急性が高い。
14	佐久市	(一) 上小田切白田(停)線 中小田切	道路改築工事 L=500m W=6.0(12.0)m	150,000	10,000	28	14	5	20	16	16	71	中部横断自動車道及び広域農道へのアクセス機能の向上により、地域産業の活性化に寄与する事業であるため、H26年度から事業化をしたい。	○	緊急性が認められる。
15	松本市	(主) 松本塩尻線 神田	道路改築工 L=150m W=6.0(9.75)m	27,200	11,000	28	18	5	20	12	16	71	交通量が多い路線であり、ボトルネック箇所の解消により、安全かつ円滑な通行を確保するため、平成26年度から事業化したい。	○	バス路線であることから必要性は認められる。

(様式1) 新規評価総括表

事業種類	主要な道路の整備		事業名	県単道路改築						行政改革課意見	採択	備考			
	市町村名	箇所名 (ふりがな)		事業概要	全体事業費 (千円)	H26年度 事業費 (千円)	完了 予定 年度	箇所評価					現地 調査		
番号							必要性	重要性	効率性	緊急性	計画熟度	評点	部意見		
16	富士見町	東野北庄(主)立沢	道路築造工 L=300m W=6.0(9.75)m	250,000	2,000	30	17	6	15	16	16	70	地元要望が強く、通学路および生活道路としての安全確保を図る必要があるため、平成26年度から事業化したい。	○	
17	南箕輪村	伊那北殿線(一)北殿	道路改築工 L=200m W=6.0(8.0)m	200,000	3,000	30	11	8	17	20	14	70	線形が悪く幅員も狭く危険であり通行に支障を来していることから、安全かつ円滑な通行を確保するため、平成26年度から事業化したい。	○	
18	長野市	山内(一)戸ノ町南	道路改築工 L=250m W=6.0(7.5)m	100,000	3,000	30	17	6	15	16	16	70	交通量が多い路線であり、ポトルネック箇所の解消により、安全かつ円滑な通行を確保するため、平成26年度から事業化したい。	○	
19	長野市	長野管平線(主)管平下	道路改築工 L=400m W=5.5(7.0)m	300,000	2,000	30	20	8	10	16	16	70	観光地へのアクセス機能の向上および生活道路としての安全確保を図る必要があるため、平成26年度から事業化したい。	○	
20	上田市	丸子信州新線(主)鹿教湯	道路改築工 L=270m W=4.0(5.0)m	80,000	4,000	30	20	15	5	20	10	70	生活道路としての安全確保を図るとともに、観光地へのアクセス機能の向上により、地域産業の活性化に寄与する事業であるため、平成26年度から事業化をしたい。	○	
21	上田市	上野貫城(一)中相	待避所設置工 N=2箇所	10,000	6,500	27	14	8	20	6	18	66	地元要望が強く、生活道路の安全確保を図る必要があるため、平成26年度から事業化したい。	○	
22	埴田市	洗馬(一)洗馬	道路築造工 L=490m W=5.5(9.5)m	350,000	8,000	31	15	3	12	16	20	66	計画熟度が高く、通学路および生活道路としての安全確保を図る必要があるため、平成26年度から事業化したい。	○	
23	飯田市	田中乱橋線(一)箱川	道路築造工 L=250m W=5.5(7.0)m	80,000	1,500	29	14	8	15	12	16	65	地元要望が強く、生活道路の安全確保を図る必要があるため、平成26年度から事業化したい。	○	

(様式1) 新規評価総括表

事業種類		主要な道路の整備		事業名		県単道路改築						建設部 道路建設課				
番号	市町村名	箇所名 (ふりがな)	事業概要	全体事業費 (千円)	H26年度 事業費 (千円)	完了 予定 年度	箇所評価				部意見	行政改革課意見	採択	備考		
							必要性	重要性	効率性	緊急性					計画熟度	評点
24	長野市	(一) 信州新中系線 茂菅	道路改良工 L=100m W=4.0(6.0)m	30,000	5,000	30	17	6	18	16	7	64	線形が悪く幅員も狭く危険であり通行に支障を来していることから、安全かつ円滑な通行を確保するため、平成26年度から事業化したい。	緊急性が認められる。	○	
25	池田町	(一) 上生坂信濃松川(停線) 相道寺	道路拡幅工 L=600m W=5.5(9.0)m	150,000	8,000	29	23	3	15	12	11	64	地元要望が強く、生活道路の安全かつ円滑な通行を確保するため、平成26年度から事業化したい。	必要性が認められる。	○	
26	高森町	(主) 飯島飯田線 越田	道路築造工 L=160.0m W=5.5(7.0)m	23,000	4,000	27	12	3	18	16	14	63	地元要望が強く、生活道路の安全確保を図る必要があるため、平成26年度から事業化した。	緊急性が認められる。	○	
27	東御市	(主) 東御端忍線 4 2 番観音	道路築造工 L=200m W=6.0(7.5)m	70,000	3,500	28	21	3	18	6	14	62	インターチェンジ及び観光地へのアクセス道路の機能の向上により、地域産業の活性化に寄与する事業であるため、平成26年度から事業化したい。	バス路線であることから必要性は認められる。	○	
28	小谷村	(一) 千国北城線 中島	道路拡幅工 L=240m W=5.5(6.5)m	50,000	11,100	27	14	6	18	10	14	62	観光地へのアクセス機能の向上により、地域産業の活性化に寄与する事業であるため、平成26年度から事業化したい。	観光地へのアクセス道路であることから、必要性は認められる。	○	
29	長野市	(主) 信濃信州新線 本村	道路改築工 L=2,000m W=5.5(7.0)m	80,000	5,000	30	12	3	15	16	16	62	線形が悪く幅員も狭く危険であり通行に支障を来していることから、安全かつ円滑な通行を確保するため、平成26年度から事業化したい。	緊急性が認められる。	○	
30	長野市	(一) 小幡稲荷山線 平清水	道路改築工 L=350m W=4.0(6.0)m	35,000	5,000	31	12	6	15	10	18	61	地元要望が強く、生活道路の安全かつ円滑な通行を確保するため、平成26年度から事業化したい。	バス路線であることから、必要性が認められる。	○	
31	松本市	(主) 温尻駒高線 北々茶	道路築造工 L=190m W=6.0(7.5)m	100,000	5,000	30	11	3	15	16	16	61	観光地へのアクセス機能の向上および生活道路としての安全確保を図る必要があるため、平成26年度から事業化したい。	緊急性が認められる。	○	

